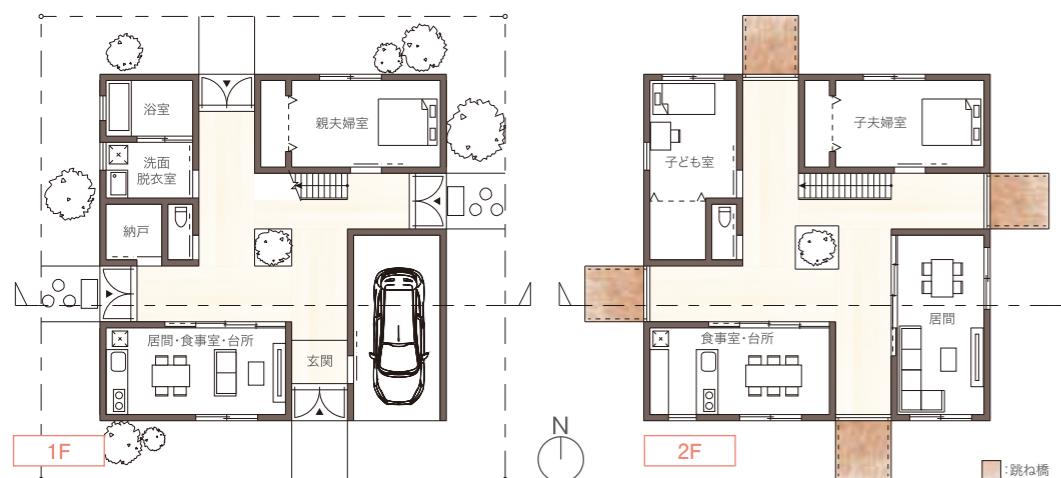


優秀賞

相川 裕一
島根大学【作品名】
つながりのかけ橋

平面図



立面図



ダイアグラム



設計コンセプト

プライバシーを重視し、機能性を追及した住宅が広く普及している。住宅は閉ざされた状態となり、人が生活をしている様子や雰囲気が外に伝わることは少ない。近隣住民と関わる機会が減り、人と交流できるコミュニティが不足し始めているように感じる。本来は私生活のなかでも、より多くの人と関わり合うことは大切なことであり、私たちは改めてその重要性を見つめなおす必要があるのではないか、と考える。そこで、住民同士の交流を活性化するために、住宅同士が手をつなぐように「橋」を架け渡した住まいを提案する。橋を歩く人とそれ違う際にあいさつを交わす、午後のお茶会をともにする、ちょっとしたお出かけや食事会に誘うといった住民同士の

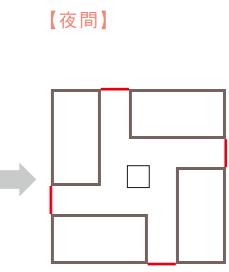
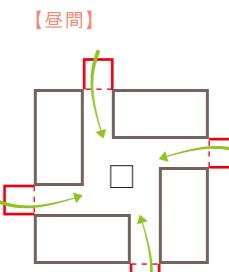
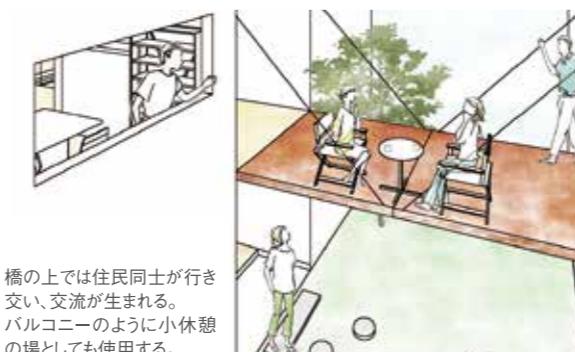
交流が盛んになり、地域全体に賑わいが広がっていく。住民同士で自然と協力し、助け合ったり、支え合ったりする環境が生まれ、毎日が嬉しい生活を送ることができます。そうすることで、少しずつ住宅のつながりが広がっていき、地域のコミュニティが大きなものとなっていく。

審査委員講評

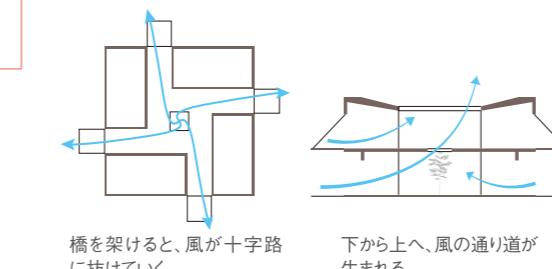
住民同士の交流が持続可能で、快適な住まいや環境をつくっていくという考えにもとづいた住戸タイプの提案です。1階でのつながりでは不特定多数ですが、2階、3階では特定の交流となり、現実味があります。架け橋がなくても住みやすい住宅となっており、架け橋は閉じることも、バルコニーとして利用できることも、さらに現実味があり、提案の先の可能性を感じます。

持続可能な
コミュニティの
形成

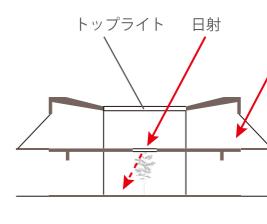
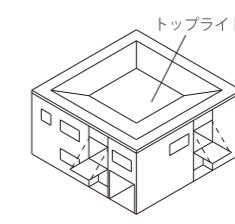
跳ね橋



風



光



1階:最小限の光が射し込み、落ち着いた空間

2階:光が十分に射し込み、明るく温かい空間